

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4774800033		
法人名	有限会社 美ら心		
事業所名	グループホーム あさぎりの里		
所在地	沖縄県宮古島市下地洲鎌518-1		
自己評価作成日	平成23年8月31日	評価結果市町村受理日	平成24年1月5日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kai gokouhyou. ip/kaigos ip/infomationPublic. do?JGD=4774800033&SCD=320&PCD=47
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 沖縄タイム・エージェント		
所在地	沖縄県那覇市楚辺2-25-7 セントラルハイム南西303号		
訪問調査日	平成23年9月28日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

内服等を減らして薬に頼らないで入所者個々の性格・人格を尊重し介護していく事で少しでも認知を改善させていくよう皆で話し合いながら介護を進めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は近隣にスーパーや住宅地がある。田園風景も広がる場所に立地し、採光や通気にも十分配慮され、環境整備が行き届いた造りになっている。開所当初より、食事3食とおやつを、事業所内で調理し、入居者と職員が会話を楽しみながら食事を摂っている。家族や知人の農家からの差し入れの野菜や果物が食卓に上ったり、新鮮な刺身をお代わりして食べる事も出来る等充実した食の環境がある。事業所内勉強会を、職員一人ひとりがテーマを決めて開催している。勉強会の中で学んだ「ウィークリーケアシート」を実践することにより、職員の観察力の向上と、より優しく接する態度の変化を管理者は実感している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員に自信自立を持たせる為、職員同志に話し合いをさせ理念に沿った介護を実践させている。	理念は、事業所開所時に、入居者が地域で安心して暮らしていくことを支援すること等、管理者の思いを込めて作成されたものである。居間の見えやすい場所に掲げ、職員は「入所者の意思を尊重する」という理念を意識し、日々のケアに活かしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入所者・職員等の入れ替わりが多かった為、地域との交流にまで手が回りませんでした。	隣の住民とは、散歩や買い物時に挨拶を交わす等交流している。地域の敬老会等に参加を予定していたが、実現に至っていない。今後は、キャラバンメイトの講習を受けた職員を中心に、地域との交流を進めていくことを検討している。	入居者が地域との交流を深めながら、地域行事等へも参加出来るよう期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	見学者・家族等に相談・アドバイスはできていますが、地域までは手が回っていません。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は出来ていません。	一昨年より、年1回、行政担当者を交えて運営推進会議が持たれていたが、今年度は運営推進会議が開催されていない。	事業所の実情を行政担当者や地域に理解してもらい、サービス向上に役立つ為の運営推進会議が早期に再開されることに期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	地域包括支援センターとは連絡を取り合い、他の施設からの移動など連携している。	管理者は、市の介護長寿課と、指定更新や入居者の生活保護手続き等日頃から連携している。市職員からの情報提供により、スプリンクラーを設置する等協力している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠・拘束など行っていません。	玄関の開閉時にブザーはあるが、日中の施錠はしていない。事業所として「身体拘束をしない」ことを方針とし、職員間でも身体拘束をしないケアを実践している。入居者と話す時は視線を下げ座って話すようにし、言葉による拘束についても理解し、「ちょっと待って」は使わないようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止テキストを利用し勉強会をし職員同志気をちけあっている		

沖縄県(グループホームあさぎりの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	いままで当施設での活用がなく職員の理解が出来ていませんでしたが、8月に対象入所者が入所してきたのでこれからです		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所希望時に説明し、解約時にも時間を掛けて御家族とも相談し対応方針も含めて納得が得られるよう努めています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族の来所持のは御家族とのコミュニケーションを率先してとるよう職員全員が心がけています	家族は頻回に面会に訪れており、その機会を捉えて要望や意見を聞くように努めている。家族の要望により、職員全員が名札を着用している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングを月一回開催して意見・希望を聞いています。	職員は月1回ミーティングで意見を出し合い、より良い運営について検討している。職員の意見で早番と遅番の出勤時間を30分ずらすことにより、入居者にゆとりを持って対応している。研修を希望する職員には、勤務調整し参加できるよう配慮している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすい環境、自由に意見が言いやすい雰囲気づくりを心がけている 資格をとる職員には勤務を皆でカバーしながらできるだけ条件整備に努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	本島での認知症研修会や、地域・他施設での勉強会等に参加してもらっています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の施設との職員間の交流を積極的に行っています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	普段より本人の意見には耳を傾け不安や困った事等がある場合には、ミーティング等を行いその人にあった対応ができるよう心がけています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所希望時、申し込み時には面談をし、入所後も御家族に話には耳を傾けどのようなケアがいいのか話し合いながら行っている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所希望時、申し込み時、本人・御家族の実情や希望に出来るだけ対応し、その都度御家族と面談しサービスに努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に食事を取りながらゆっくりと話をしたり、ドライブ・散歩等を取り入れる事で話しやすい環境作りを心がけています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会される御家族もおおく、入所者の現状を伝えながら今後の事・要望など話しあっていますいつでも良い関係が保たれていると思います		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ドライブ等で自宅や畑など本人の住み慣れた地域に行ったりしている	帰宅願望のある入居者と自宅までドライブしたり、入居者が家族や友人の送迎により週に2回教会の礼拝に参加できるよう支援している。また、馴染みの美容室に職員が同行し支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	認知症のレベルに差がありますが、職員が間に入り一緒に作業をしたりレクをしたりしています。		

沖縄県(グループホームあさぎりの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の事業所に移動後も訪問したり情報交換をし連絡するようにしている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人・御家族の意見を聞きながら、本人が生活しやすい環境作りに努めています。	入居者一人ひとりとのコミュニケーションとスキミングを出来るだけ多くし、居室担当の職員を決めて意向の把握に努めている。把握が困難な時は家族からの情報により支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活を尊重して、ご家族からの情報など聞きながらその人にあった環境作りをしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事時間・入浴等各々のライフスタイルに合わせた時間に対応して、出来ることは自分でやってもらいその人の時間を大切にしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・御家族の意見・希望を聞き職員全員でモニタリングを行い入所者主体の暮らしに反映したものにできる限り近づけた計画を作成している。	介護計画作成担当者は全入居者の計画を就任間もないので見直ししながら把握に努めている。介護計画は、モニタリングを全職員で1カ月に1回実施し、状況の変化時や介護認定の更新時に、入居者や家族の意向、職員の意見等を取り入れながら作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各々の日々の記録をし職員間で情報を共有しながら、どうゆうケアが本人にとって一番なのをkを検討し計画を見直している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況に応じて御家族に差し入れを持ってきてもらったり、外出・外泊等も積極的にしてもらうよう対応している。		

沖縄県(グループホームあさぎりの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くのスーパーと一緒に買い物に行き馴染みになり店員さんとの会話や施設前を通る人との挨拶などしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時の主治医との関係を大切にしながら、受診・往診を行ってもらっています。	入居者は、近くの診療所や歯科、脳神経外科等の往診の他、整形外科や眼科等、家族や職員の支援を受けて受診している。診療後の情報は、家族へは電話で報告し、職員には申し送り簿に記載して共有を図っている。また、入院時等は、情報提供書を作成し医師との連携に努めている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	各々の体調や些細な変化を見逃さないよう、気づいた事があれば管理者に報告し指示を仰いでいる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時はたびたび病状確認に見舞い、主治医と話しながら出来るだけ早く退院出来るよう支援している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族と面談し文章を取り交わしている	事業所は、入居者や家族の意向に沿った看取りの支援を方針としている。入居時に重度化や看取りに関して入居者や家族の意向を確認し、入居者の状態変化に応じて、その都度意思を確認している。今年度1例の看取り支援に、地域の診療所と連携して対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救急緊急時の対応マニュアルを作成し勉強会や話し合いを行い対応出来るようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間の避難訓練を実施予定でしたが出来ませんでした	今年度、職員2名の防火管理者講習の受講や、3月のスプリンクラーと緊急通報装置の設置等、安全対策への設備や環境の充実が図られている。津波警報時の避難手段にバスを利用した際、全入居者のバス移動に時間がかかりすぎることを課題として捉えているが、対応を検討する避難訓練は実施していない。	災害時等に入居者が安全に避難出来るよう、避難の方法等を含めて避難訓練の実施に取り組んでほしい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	声掛けには名前で呼びかけ、言葉掛けの内容・語調には十分注意し入所者の誇りを傷つけたりプライバシーを損ねる事がないよう取り組んでいる。	「〇〇さん」と名前で呼びかけ、大きな声を出さない、丁寧な言葉かけをする事等を職員間で確認している。介助の際は入居者に説明し、意思を確認してから対応している。排泄介助時はトイレのドアとカーテンをきちんと閉め、プライバシーへの配慮に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの生活パターンを把握して、本人が自分の希望を訴え決定できるように環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の仕事の流れはあるが職員の仕事を優先するのではなく、入所者の体調や気分配慮しながら支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人に好きな服を選んでもらったり、選べない方には御家族から好みを聞いたりしてその人らしさをだすようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べれない物は別のメニューに変更したり入所者が楽しくなるように職員と一緒に会話しながら食事をしています。	事業所内で3食を調理し、入居者と職員と一緒に会話を楽しみながら食卓を囲んでいる。新鮮なスイカやドラゴンフルーツ等の差し入れが食卓に上がることもある。入居者に味見をしてもらって味を調整したり、野菜の下ごしらえや御膳やテーブル拭き等に入居者がそれぞれ参加している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各々の好みによりキザミにしたりしている。食事量や水分摂取量は毎食チェックして体調の変化には気をつけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、自室で歯磨きや口腔ケアをやってもらっています。入れ歯は週二回ポリドントを使用している。		

沖縄県(グループホームあさぎりの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排尿・排便チェック表を活用しながら一人ひとりのパターンを把握し声掛け誘導し失敗しても傷つけないよう手早く交換している。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、水分摂取状況等も合わせながら、トイレへの誘導を個々に支援している。リハビリパンツから布パンツへの変更を可能とした入居者もいる。排泄介助時の臭いは、こまめに洗浄する等で防臭対策をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表で確認し、食物繊維・水分・緩下剤等使い分けています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴日はきめているが、各々の体調を考慮しながら好きな時間に入ってもらっている。	週3回の入浴と同性介助、個浴を基本としながら、時間帯等も入居者の希望に応じ、早朝の入浴にも対応している。入浴を拒否する場合は、無理強いせず、時間帯を変えて声かけする等している。また、シャンプーや石鹸は一人ひとりの好みに合わせる等の配慮もしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	無理に消灯せずに本人が眠たくなってから誘導するようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各々の薬剤情報は職員の見やすい所に保管し薬効や副作用を理解し、状態の変化が見られたら管理者・主治医に連絡するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各々好みが違うが、ドライブ・ボール遊び音楽等多くの入所者が参加できる事を見つけ楽しめるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	各々の体調や希望に沿って無理のないよう出来る限り外出・外泊の支援をしている。	入居者は家族や友人、職員の支援を受けながら教会での礼拝を継続している。弁当を持参して海中公園へ出かけたり、港でアイスクリームを食べる等の外出、他のグループホームとの交流の為の遠出等にも取り組んでいる。	

沖縄県(グループホームあさぎりの里)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在、お金を所持している方はいませんが一緒に買い物にいたり、頼まれた商品を買ってきたりしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人希望により家族に電話したり、荷物が届いたときにはお礼・近況報告をしてもらっています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとりが安全・安心して過ごせるように、居心地の良い空間作りを工夫している。	広々とした玄関には椅子を置き、外出時等の靴の履き替えをスムーズにしている。居間はテーブルやソファ、1段高めの畳間があり、入居者が、畳間に寝そべてテレビを見る等思い思いに過ごしている。また、居間は外の畑や草花が見渡せる空間にもなっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファ等は自然と座る場所が決まっています、食卓でも気の合った人が会話を楽しめるようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた寝具等を持ってきたり家族からの手紙・写真等を貼ったりしている。	居室には使い慣れた椅子や寝具が持ち込まれ、カレンダーや日めくりの暦、家族写真等を壁に掛けている。入居間もなく居室を不安がる入居者は、夜間は共用空間の畳間で職員と一緒に過ごす等で対応している。転落の危険のある入居者は、ベッドを置かずに、畳間にマットレスを敷く等で安全面に配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各々の部屋に表札をつけ自分の部屋とわかる様にして、部屋の中も危険なものを出るだけ置かないようにしている。		